

・令和7年度 佐賀県道路メンテナンス会議(第1回佐賀県技術検討部会)において、道路施設管理職員の技術力向上や今後のマネジメント(維持管理)等へ展開される事を目的とし、各地公体での症例を基に道路施設の健全度の判定や補修・補強技術など、地公体が悩んでいる案件について助言を受けた。

参加者: 佐賀大学 伊藤教授、テックシニアーズ、佐賀県内20市町道路部、九州道路メンテナンスセンター、佐賀県、佐賀国道

●TEC-FORCEアドバイザーによる症例検討会での助言(令和7年7月25日)

症例検討会状況



会議後の相談状況



【鹿島市】市道横断線 横断三号橋

事例1: 基礎部の浸食(Ⅲ)の点検・判定区分についての相談

- ・佐賀県内ではこのような山側の河川での洗掘事例は最近よく出てきている。
- ・重力式橋台の側面側に川の流れがあたっている様に見受けられる。
- ・床固め等で流れを変えてやり、橋台にあたらぬ様にする必要がある。

【嬉野市】市道大谷線 大谷橋

事例2: 上部工主構石橋、竿石の脱落やRC床版の剥離、鉄筋露出、うき、ひびわれ(Ⅲ)の点検・判定区分についての相談

- ・佐賀県内ではこのような橋は全体の1%ほどあり、この損傷も珍しくない。
- ・タイヤの乗る部分の竿石が1本滑落したケースはよくある。その場合は抜け落ちた所の下に型枠し、鉄筋を組んで生コンを流し1本だけ直す対策をよく行っている。将来的なことも考え、ボックスカルバート等に更新することや全面的に架け替えることは必要なことである。